

## PRESS RELEASE

2020年7月2日

アッヴィ、2019年の日本の業績と2016年に開始した5-YEAR FOCUSの進捗を発表

- 2019年は昨年につき、2年連続1,000億円超の売上高を達成。2016年比では、49%増
- 2016年以降現在までに、新たな成長エンジンとなる5製品、すなわちデュオドーパ®、マヴィレット®、スキリージ®(世界初の承認取得)、ベネクレクスタ®、リンヴォック®を上市。また、ライフサイクルマネジメントによりヒュミラ®(現在までに11の適応症)はブランド力を堅持。全体として多様な製品ポートフォリオで強固なビジネス基盤を構築
- 自己免疫疾患領域は、ヒュミラ®に、スキリージ®(2019)、リンヴォック®(2020)が加わり、マーケットリーダーへのコミットメントを新たに
- 新たな領域となるがん領域に、2019年にベネクレクスタ®で市場参入。現在、がん領域で13超の新規品目を開発中。免疫ロジック(免疫)領域とともに事業成長の柱に
- 開発においては、2019年は2016年と比較して、開発品目数、臨床試験数において成果倍増。2016年~2019年に19の承認取得(適応症・剤形ベース)
- 2020年働きがいのある会社ランキングで11位と過去最高位を達成。高い社員エンゲージメントを維持し、斬新な働き方改革とインクルーシブな職場環境づくりをさらに推進し、選ばれる企業へ

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は本日、日本の2019年業績と2016年に開始した5-YEAR FOCUS(5カ年計画)の進捗を発表しました。5-YEAR FOCUSでは、「ビジネスの成長」と「社員のエンゲージメント」を中核として重点項目に注力してきました。

2019年の売上高は1,245\*億円で、2018年に続き2年連続で1,000億円超を達成しました。また、2016年と比較して49%増となり、ビジネスは大きく成長しました。新製品上市の成功と既存製品のブランド力強化、そして新たな領域への参入により、多様な製品ポートフォリオで強固なビジネス基盤を構築したことがその主な要因です。

自己免疫疾患領域においては、ヒュミラ®皮下注がライフサイクルマネジメントでブランド力を堅持するとともに、スキリージ®皮下注(2019年)、リンヴォック®錠(2020年)を発売しポートフォリオが拡充



しました。今後、免疫学(免疫)領域でリーダーシップを発揮し、医療へのさらなる貢献を目指します。

新たな領域の参入としては 2019 年、がん領域で当社初の製品、ベネクレクタ®錠を発売しました。本剤の適応となる患者さんの治療に貢献し、今後はさらに広く血液がんの領域で貢献できるリーダーを目指します。また、血液・固形がん領域における 13 超の新規品目の開発を迅速に進めていきます。

医薬品の開発においては、2016 年と比較して 2019 年は、開発品目数(11 vs 24)、臨床試験数(29 vs 58)ともに倍増になりました。また、2016 年～2019 年に 19 の承認を取得しました(適応症・剤形ベース)。これからも、「革新的な医薬品をいち早く、日本の患者さんへ」の実現に注力していきます。

## 2019 年～2020 年前半のマイルストーン

### <発売>

- 2019 年 5 月: ヒト化抗ヒト IL-23p19 モノクローナル抗体製剤 スキリージ®皮下注  
2019 年 3 月、既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症の効能・効果で承認取得。スキリージ®に対する世界初の承認
- 2019 年 11 月: 抗悪性腫瘍剤/BCL-2 阻害剤 ベネクレクタ®錠  
2019 年 9 月、再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の効能・効果で承認取得
- 2020 年 4 月: ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤 リンヴォック®錠  
2019 年 2 月に申請し、2020 年 1 月、既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)の効能・効果で承認取得

### <承認取得>

- ヒト型抗ヒト TNF  $\alpha$  モノクローナル抗体製剤 ヒュミラ®皮下注 <化膿性汗腺炎>  
2019 年 2 月に、本剤 11 番目の適応症として化膿性汗腺炎の承認取得。本邦初  
2020 年 5 月に、用法・用量の製造販売承認事項一部変更の承認取得
- 抗ウイルス化学療法剤 マヴィレット®配合錠 <小児 C 型肝炎>  
2019 年 8 月、12 歳以上の小児 C 型肝炎慢性肝炎への適応追加の承認取得。直接作用型抗ウイルス剤(DAA)として本邦初

### <申請>

- ヒト型抗ヒト TNF  $\alpha$  モノクローナル抗体製剤 ヒュミラ®皮下注 <壊疽性膿皮症>  
2019 年 9 月、壊疽性膿皮症について、希少疾病用医薬品の指定を取得  
2020 年 2 月、適応追加承認を申請



- ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤 リンヴォック®錠 <乾癬性関節炎(関節症性乾癬)>  
2020年6月、既存治療で効果不十分な乾癬性関節炎(関節症性乾癬)に対する治療薬として適応追加承認を申請
- 抗悪性腫瘍剤/BCL-2 阻害剤 ベネクレクスタ®錠 <急性骨髄性白血病>  
2020年6月、急性骨髄性白血病に対する希少疾病用医薬品の指定を取得  
2020年6月、急性骨髄性白血病に対する適応追加承認を申請

社員のエンゲージメントに関しては、組織が拡大する中、2018・2019年に実施した社内調査で90%を超えるレベルを維持しています。また、外部評価である2020年版日本における「働きがいのある会社」ランキングは11位と過去最高位を達成し、大規模部門で3年連続選出されました。アッヴィの働き方改革であるMy Journey, My Choiceの下、多様でインクルーシブな職場環境づくりをさらに推進し、選ばれる企業に向けて取り組みを続けていきます。

社長のジェームス・フェリシアーノは次のようにコメントしました。「2016年に始動した中期戦略的計画である5-YEAR FOCUSのこれまでの進捗は期待以上のものでした。取り巻く環境の変化が激しい中、全社員が『患者さんの笑顔に貢献したい』と強い使命感をもって取り組んできた結果です。今年、新型コロナウイルス感染拡大の危機という誰もが予測できなかった状況にあります。引き続き、従業員の感染予防や体調管理への配慮、医療現場や広く社会における感染防止に努めながら、患者さんへ確実に医薬品を届けるという使命を果たしてまいります。刻々と変わる状況において、社員の自主性と柔軟さを重視した先進的な働き方改革をさらに発展させてまいります。今後の展望としては、さらに医療に貢献し、免疫学(免疫)、血液がんにおいてはリーダーを目指し、肝炎領域ではC型肝炎撲滅を推進していき、長期的な視点で未来を見据え、持続的成長を目指します」

#### COVID-19 パンデミックで大きく影響を受けている方々への支援について

- 米国本社は、医療体制、患者さん、コミュニティ支援のため3,500万ドルを寄付しました。
- 日本においては、新型コロナウイルス感染症の対応にあたる医療従事者・医療現場への支援に向けて日本医師会へ、社員と会社のマッチング寄付プログラムを通じて、4,674,440円を寄付します。
- 一般の方向けには、楽しく手洗いができる「手洗い練習スタンプ おててポン」(非売品)を小学生までのお子さんを持つご家庭を対象に、応募者先着3,000名にプレゼント。また、ボランティアで科学教室を開催している児童養護施設にマスク1,000枚とペーパータオル30袋を寄付しました。

#### アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、神経疾患、アイケア、ウイルス、ウイメンズヘルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィ



の詳細については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com) をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,200 人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの人生を豊かにしたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。詳しくは、[www.abbvie.co.jp](http://www.abbvie.co.jp) をご覧ください。

\*2020 年 7 月 3 日修正